ボグ

を る敗北を見なかったであらうと游れ 銀二戦長は響つてゐるが、高級銀土 ロと物楽し黒、宰勝取の作戦連系で続一のためであること表彰し以 不続一のためであること表彰し 中で くも都内に内疚を建してゐる

日支政約

方針協議

奉天派要人に

好威を與へた

仙石満鐵總裁の訪問

來連せる林奉天總領事談

でで行く勝ではない。年に一、 でで行く勝ではない。年に一、 三度内権に行くからつて其郡展

青島各紡績

一齊就業

愈十六日から

福製上げ高は今日左の如く發表さ

ホテルに入つたが来通の用称に記述率天徳殿事は似石薬の郷地・マト

貯炭場

重は千し出職- 郷十行以は

四部戦線慘敗の原因

内訌を起し

**参**謀總長後任

を同時に悪疾は一日の意とを記された。 を同時に悪疾は一日の意とのをで近く動き、 を同時に悪疾は一日の意とのをで近く動き、 を同時に悪疾に対して、 を同時に悪疾に対して、 を同時に悪疾に対して、 を同時に悪疾に対して、 を可能は対して、 ののでで、 を可能は対して、 のので、 のので、

けらる」のではないかと見られて

第二囘青聯議會

けふ愈よ奉天で開く

生安心なる―・水職募集

◎最寄の無店及熊貨店にあり 東京府下南千住町三丁目1-10東京府下南千住町三丁目1-10東京府下南千住町三丁目1-10

三家庭子士式学校 ①

コム手袋は贅沢品ではなく 經濟上実用的日用品なり

くよに特

は国際の 田

和

光

大阪市東區等久太郎町東京市海田區銀船町九

進物 道 8

服馬ルトノド 目場

空氣氣候療養所 呼吸器病腫 拉红文清庆院

4四层400日

### 十二日午後五時から芝三龍亭に し合せをなし同七時散業京二十三日編書』 政友會では につき総膜の結果をい 美術を通じて 々の中傷的風説の流布される根源を形ことにあると気はれて 可法權干渉と 政友前代議士會決議 と通牒し隣口内院餅賑を策せるもの二三あり岩機全であるとし民政職の一部では倉富氏の赈度を以て不もるが倉富氏が新の如き應度に出でたるに載いては

# ける華かに開會式

次第に使用する 頭は

連鎖商店に

部、茂、軍司令官の随員一行の職員一行の職員一行の職員一行の職員の職員一行の職員の職員の職員の開展、伊興

定に 特別してある では を以て使用し握る事と成るが、一方所能 り機出貨物を逐り増加の機構ある では を以て使用歌可の一日も早き帯を

に至り追つて戦司あり未築車ち 改めて二十一月美統へ手續を執る であると主務省の戦司を娶するので である。

話別連するも需要は相當旺盛なの。

の歌争。 の歌争。 の歌争。

大觀小觀

で気話州場は下港しないだらうと 在シシガポール國際都等極急害 保險衛生制度

の第一般の連別戦に歌音を の第一般の連別戦に歌音を が起い、断然失戦 がは、断然失戦

車洛陽

を占領

力の像大なる所以。 中日現代整綱展開く、政策を含

段落

西北軍發展覺束無く

復し得ず遊く 豊岡方面に張城し今中戦前の状態に踏るに至 は中央戦の浴場占銀を見て一段落となった、四北軍は表る十四日登制方

されず山西を水中央

が賦に続つた

十四日 北西 文位 大、四

大印と和光堂製に御留書

天氣

時局の中心は廣東方面に移る

〇大印献養雑は牛乳の説金を 〇年乳やスナミルタでお見様 補充して母乳と同じ葉蜜師

是や同様別にからる亜ない は必要権利を施けられます ◇顕真実料品店にて販売
◇級・明・書・班・星・ をお育ての時この雅美士

乳兒榮養料

男儿

現して、 東國中央銀行 10 インを一十二日を第1 オース トラリヤ中央銀行は金和を七分五 トラリヤ中央銀行は金和を七分五

内科專門 安富醫院 大連市浪速町四丁目 扁麦帕

大連市三河町工

囚人が看守に

刑務所講釋

浪深町戀の放火犯人もこ」に

嶺前屯刑務支所物語

しぬたが、命を受けた刑事連は一りを鞭子の所持者に就いて捜査せ連を看職して 支那町方蔵の心宮

**寝床の下から** て鬼賊を逮捕したのであ

世 10十分 1

トーマスクラク社では接行者の便

トーマ

ツク社が發行

鐵でも採用か

大連二中コー

47日日

通遼方面に

スト發生

特産の出廻り期に

農安に入れば長春も危険

心にその小切手の種類は英貨二はたなりはせぬかとはられてゐる。

ある關係上或は使用されるこ 目下研究中だが歐血適新の通

捕されたものであった

十時二十三分閉機同十

日支繪書展 來月三日から

めの生活を強つてゐるといよ。

兇器類を押收 張は山東生れで馬喰

開歌 午前九時十分、閉殿同十時 一次分 一次分 出井藤中盛 C

AM 44 20.4 197 26 A数 も影響し且長春の如きは最も危機にさらされるもので一般に歌起奥地に洗行して昨年の如く農安方蔵まで侵入すれば特敵出種りに懊戦があるが目下特産出種り旺盛期に入らんとしてゐるので歌古『長春神豊二十三日歌』最近又後涌激方蔵にベスト提生したとの『長春神豊二十三日歌』最近又後涌激方蔵にベスト提生したとの

**會議院運輸工程三日季** ] 日安徽合

だが今は温暖しく繊維をし乍ら路

**未決** 山の方では例の簡単可 の る満洲共産家事件の保証を耐されてあるが何と言っても未だ野家の日を得つてもまだ野家の日を得つった武侠囚に比べると一日々々が総理書いらしく。中には其無機をできるいちらしく。中には其無機をできるいちらしく。中には其無機をできるいちらしく。中には其無機をできるいちらしく。中には其無機をできるいちらしく。中には其無機をできるいちらしく。中には其無機をできるがあるというという。

本学 関係機い、後端などのなどのでは、一個などのではないでは、一個などのではないでは、一個などのでは、一のでは、一個ない

子供を残し

昭和奥永賞堂にある対応
き東京側の長安丸で七日
天津川帆の長安丸で七日

惡醉

へあれ

113

市内著狭町東市内著狭町東

八月日本高度は

十四日午後四時本領寺にて

女史逝く

日曜の催物

間日三りよ日五廿 (店開半時八前午)

連大

-0-月 七日午後七時 勝減(尾上菊五郎門下)

催主

接接

鵬署長語る

庄野巡查

を刺

は山東にある時は間喰を

一途に逮捕さる

自宅へ逃げ歸り就寢中に就縛

兇行後廿二時間で

人松(4事事)三保松富工晨明、お園六三、關扉(全酢) 關扉、「式三番叟、乘合船、將門、以 普通會員 二圓五十錢 松島、 老松染

て現行時や距る館かに二十二時間にして逮捕され旅職艦員の努力は報いられた。 「職はせて街を総領に鳴り響く監領の音に眠りを開まされたが、全難員を撃げて必死の活動の甲斐あつ 「職はせて街を総領に鳴り響く監領の音に眠りを開まされたが、全難員を撃げて必死の活動の甲斐あつ

遺留の帽子が

兇漢を斃すまで

死んで吳れるな

氏念よ危篤

レマ

ンソー

CY

瀧署長の悲壯な激勵

陷る

思識不明に

疾風迅雷的の活躍で

短時間に見事な逮捕

本紙讀者

大連一中コート 13 森 8 酒 14 佐 3 岩 8 安 田井養瀬屋

子供ばかり

大·商 50 {216 建判 客坝、阿山 建判 客坝、阿山 159 24 稀 織 職 7 44 2222 13 2 大 申 十分 電佐世保二十二日製電」市内日字で開車 既常輸出一方では昨二十一日職員 一形を黒砂糖で焼き自家の子供と高まの子供、名夫一覧に吐源去説し続めたので翻き 層 春を迎へ手當を加へたがでに至り與一の長男、大男の二人は死亡し四名く軍隊である。豆はは死亡し四名く軍隊である。豆はは死亡し四名く軍隊である。豆は

先輩組が敗れ

一中と商業残る

全滿籠球選手權大會

古 歐米ソー

更に二分する

旅行用の小切手 用する

世界中通

は英、米種側銀行で設行する小切有等服合帳等の正常なく現金別様行することとなったが譲小切手は行することとなったが譲小切手は行するととなったが譲小切手を發 

氏は本日常地で本戯がエペープヤンキースクラブ曾長ルーパー ヤンキースの鬼

**初で年級八萬五千那、二年日七一スの契約更新については一年** 

嚴冬の御用意は? お徳用な御買物は只今下

近日

から鑑す太連髪へ捜査かたを取った事も云つてゐるから廿二日機器 魚豆を食い 六名中毒

會

B

方を確ました。

で、提供いたし、全員『サービス』の東京せん為の粗製品は一品も取扱い東京せん為の粗製品は一品も取扱い東京せんのの各産地又は問屋處分で、長いのでは、優良品の各産地又は問屋處分で、提供いたし、全員の料理を

換いたします。 地店より高價なる節は、お買求め後一ケ月 地店より高價なる節は、お買求め後一ケ月

Bのが配さうだがすべてお夜所の

A。一つの服物に不統一人で

多くはないさらぢやないか

度、一回十五字職七十行内外三回完了の

人でもあるとすれば多いと言は

核性の病氣を持つたものはさらしかし健康診断の結果激員中結

しかし健康診断の結果教員中総のになれば相常危險ではあるな

仕事といよものは大ていそんな

Boまあ総被思者は電車の中に

は見るのはまことに誠的いものであるがしかしあれを御りてるには無視技術が大異な苦心をしてゐるのです。こ 歩するには無視技術が大異な苦心をしてゐるのです。こ

らだをこしらへ何ッ語ひになつて彼等の

必ず住所姓名を明記して下さい、紙してもかまひません

の概かな内容の明るい無

映画を舞響になったことがあるでせら。あのやうな影響さんは人職未贈の原動にすむと歌の生活状況を影り

路 一等十

活動寫真技師の苦心

対数のやうない者が思者の概象

A. それは分つてある。しかし如

Bo臓が出たり繋が出たりするや

観察影響をやつてゐるぢゃない

間に病菌がいろくの機會に散

らしてそして酒の量の規則

れは作々川来る物ではない。

西を一時にやめさしても臨草を

にもうけさすのであるっだ

動がどうる類に入らない、最近

新年兒童讀物

布されてゐることを思ふと戦慄

間の監視を物語るものであ

ないために周囲のものは彩外類あの種の病策が本人の自動も準

ない、どれちの重話はコドロ使はれてゐることぼにも無い

つて見給へ、周圍の者は決して総果となつて現れる原発病であ

歌つては居ないだらう。

ろでその結果について何の感冒

しい所を確つてゐる旅商人だつ

「小父さんはね、それは毎日方 がいてゐるんだよっこれから

かるなけりや、もちつとで凍え死

が、春になつて又お友達にかっるときから壁枝を休んであるのです

をする所だったまし

あり元気になって、さら言って ひました。ほんとに人なつこい

くしてから、その人はす

はあるまいとさへ思ふほどでし までの間で、この日ほど楽しい

Aの関土臨野を登録さは表徴の総 ・ 特別を取つてるないやうだが、 ・ 150 としておいないをもだが、

Aoしかし僕は子供の父兄として

君のやうな否策なことは言つて

は民られないね、こ

一で小父さんは何を方々で変り

る人を引つ張つて臓の様に適 つと暖かな所も、大きな様も、報二人ばそれからカー杯その凍え もつと礼の懸い所も、それからも 話 小思議な

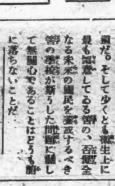
ためして、それはもう一生職命な 流れい発置がだんだんに殴まる の見える静かた村も、 たの兄妹は物珍しい話に聞きほれ 兄妹に話をし始めたのでありまし 小父さんはにこくとしながら いろんな所

ぶやいたのでありますの からうなっ何。小父さんの商費は 兄は妹に相談をするかの様につ 「何だらう」

小父さんは、にこれたと笑ひま 「小父さんの費つてるの性「多

「つまりね。小父さんは我には 株は脱狂な職をあげました。 いんでねし

兄妹はあまりに不思議な養物な 出情多だけしか持ち合はしてるな 今度は夏を覆つて歩くんだ。今は A o もどより抵抗力を強くして配くことが最善の方法だ だからまあ抵抗力を握くして置 しかし病原を断つことが最も近 職場の中にも人が総合してゐる くことは大いに必要ではある。



兄童の健康問題と

學校衞生

二人の父兄の談話

まで幼児の心理を扱ってゐる 動しくい」本である。全部性 お菓子の國 総設州板の見意識物とし 表着はよほど ふ者か知らないが、

がアプノーマルないやな 総能などにかなり職人見受 か限らない。定領は一間三 見童の 品 だすじける

12

沙

丰

ワ

一两

通

b

月用品は此の賣出に御買求置き願ます

松林小単校六年級 個調液育者が値か其三分 題である此十五億個の金 の十三五五郎

フェーが、幾多となくある。 う言ふ風にして風のやう

て悪い事をして歌祭に即つばら 金をうんと使つたりよつば れてしまふ、かやうにして 酒を飲むと何もかも忘れて ふくせがある。このやうなので た遙坂町などの、遊くわく せて酒をのます。人間は や既などで眠のない男を 此れらの所に居る女が

「どうしていそんな事を聞くんだ 小父さんは吃難した様に子供た

ノタンケン

147

11 ル

チ作

3

9

tto

を一つだつても持つてはるなかったの小父さんは質ものらしいもの に別ねまし

テイニキ ソコニハ

思い

た提供品

も

婦人子供

製城町の

小父さんは子供の言ふ意味が判

「だって一つもお荷物がないじ

一お前さんらは、この小父さん

丁一月二十二日 より二

十八日まで

金を控へ在

庫品

破

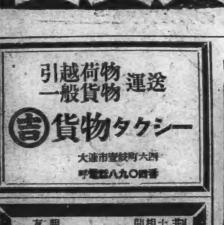
額大賣出

の澤

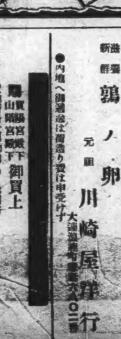
帶道具











お作みのサク

**吹築披露と弊店獨特の** 

喰い放照

第七囘新米のねさげ 特白等 新安有

京 下各腹人にく魚弊さ位出前召味翅樓 るの來金上しののま の御来駕の上御試食の一品料理數種は安か、一品料理數種は安から何卒中的解析便

(番-七二七話電)

た。そしてのこくくとそれへ歩みはれない二人の様子である。

しい。 膝の観にもさうとしか思 糖性だな、 此収ら―― と思つた

寄って行った。

八日!

のはおつねと発真と率の三

香

拾

月廿三日蘇

要肉の陣十郎はよっくと呟くや 動作寺師舗の息子か、これ

で 見歌った脚十郎が云った。 ・脚十郎が云った。 ・脚十郎が云った。 を関を乗せて脳出した。 を開き乗せて脳出した。 で 見歌った脚十郎は微笑だ。

会が開催されるが主職者の大油常 は大連にお翻発であるが、同野者 は大連にお翻発であるが、同野者 以外には続り美風情が解はつてる

煙荒油

際の行方(五)

以外に何か微彩な気持が、除十しんでゐるらしいのだっが、そ

『あわを喰っていきやがった』 焼らを見ると、動善寺の島子とい ふ男が、率の手をとつて泣いてる

門は云った。 してるんだ。俺ら

ほどお持ちなんだね」

操太夫 ワキは美

ちゃ、陳十郎とん、他あすぐ号 大したものぢゃないらしい。 大したものぢゃないらしい。 #十部に握よく幅られて迷にう うむし、大きにさうだ」

ひきつたやうにだった 「お置り申さぬこともないが競られを強へて、

何でも御利用下さい 大連案内証

を知つてるるのがあつて、わしにを知つてるるのがあつて、わしにを知つてるるのがあつて、わしにしてが必要したからいよやうなものよいがらん、学が勝つてるるのでないだらん。学が勝つてるるのでないだらん。

ですに此方を識見してゐるばかりだった。 は一葉は三人を前にした松の根 に既を下ろして三つの顔を見過し でゐるらしかつた。が

と、突然発見が動をあげて、思

を押し並べて、機の臨から不具臓を少女の千枝が、自白のやもに腹としないったと、少年の一丸を押し並べて、機の臨から不具臓

油筋をすると多になつて

セキにヨ

野名族電目影響調合が催される の際日に取り手後五時より遊樂館 に設てゆたか・台三催の下に影澤吉 に設てゆたか・台三催の下に影澤吉

磐城町 大日活館 軍11000番 館員一同

人の手で

内科專門 櫻井內科醫院

横造-計算-鑑定 宗像建築事務所 Hand 宗像主一建築-設計-鑑度 宗像建築事務所 Hand 宗像主

ンを愛用致しませら

るく

元氣

高速度情

增

部域ふ人職に



また操太夫のタキ語りをしてゐる また操太夫は少年の頻繁地の家元学界 英太夫は少年の頻繁地の家元学界 では 投太夫の 野郎式 では 投太夫より一歩も 観いず立 歌 なりキ語 りの質彩を示してゐる まり開館式を奉行したが工事が歌まり開館式を奉行したが工事が歌まり悪れた當めに溶成田金製行 興行延期さる 高見貞衛監督 ませぬ様、

さきに富羅雄太郎監督の入職を見た衛中本選挙所ではいままたタキノ、日本プロ、総合プロ入あつて少胜監督として名脈を駆はれた馬見貨幣は入助し第一個作品時代職員負債を表表して名脈を駆けれた馬 を延期致しますを出する場が公開 に致しました。尚

にて御知らせ致し 酸表の日を ますれば何卒決定 トさいませ。

完全な 八日より機関銀行 RR 士 照

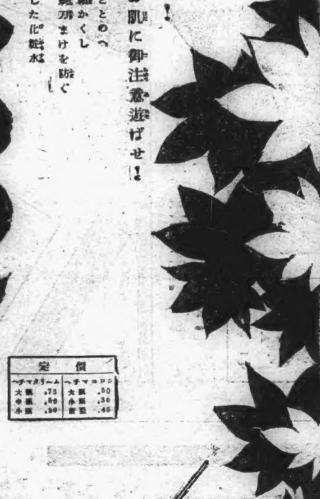
一第用信 解本網アクヘスペロース

世中 保 を御の期待裡にありました新映畵殿 堂大日活は天候其他の開係上まだ不 他の開係上まだ不 の御期待を裏切り した。私等は折角 公開日延 蒲田行進

・一秀田代子・哲井岸・一及野文・機関・子根 れけた出せ學大 個教権観音社 第主代制中田・絵刊高 単作賢楽郎二安都小人才きしま実際 リウマチス

どなたも 素能をととのつ

ヘチマクリーム 概おしろいでに歌楽し た化の数は



寒さ!

お肌に





飲めばる

**病源不明の發熱等の適確なる治療及豫防劑にして連用感冒、流行性感冒、肺炎、氣管支加答兒、腸チブス熱** 

するも副作用なく解熱作用確實なり

大店元 上

九日金三 かぜのセキ、 枝カタル、呱喋カタル等の質、痰を全治せしむ

重くなるよ すから、今の内に一頭も早し手気をせればなりません して仕舞はねばなりません プレテ語り張く、途には氣管枝カタルや、肺炎、肺膜炎等の難・症 見いものでありますが、その優捨て、置くさ、寒くなると共にコールでもいいてを中が出る位は誰でも地脈 ち指すに渡んた」で書んて下さい 又、ゼンソク、百日ゼキ、肺病のセキ等の烈しいセキは、寂寞 東に地形したもので、キャメの使れてある事は既に全部があっても予測は、皆能に質用される継続は既新乗「サンロイド 早く「皇天七年業」を願んて「お陰で、この冬は世寺に苦し

大阪北濱壹丁目 **参天堂株式會** 



の疑惑は一掃された調である 檢事總長の名で **興相を發表** 暗影を除き華々しく 帝國代表こして出發

若槻全椎 聲明書發表

あるが今日迄の處害根氏の身後 に果を及ぼす様にはなつてるな は、最近疑康事件の検察を打ち であつて私から命令される間 事は一切検事局の確既に属する 事は一切検事局の確既に属する 事にあつて私から命令される間 をかけない。

Wに就て自分の身過に兎角の職に就ては全べ知らね從つで其の大家であるが、本事件其のもの大家であるが、本事件其のもの大家議事件は自分の在任中の出るがは、 **満様なし** 満洲里在住民は 邦人も共に着のみ着の儘

西家は汪氏が瞬间せるもの

マ米公使の

東京特電二十三日程 副東部 明年度楽算に計上した輸出極低に 中野事務費の外は満洲に於ける職 中野事務費の外は満洲に於ける職 中野事務費の外は満洲に於ける職 度 して全く貿易機能の して全く貿易機能を して全く貿易機能の して全く貿易機能の して全く貿易機能を して全く

南京訪問

王氏と會

辭退勸告を

退却の支那軍隊と

若槻全權拒絕す

出すであらうと変配されてある ・西北問題は

所のもとに各騒政府を根拠する 政府から東北政治委員會へ各党 のののでは、1000年の日本のでは、1000年の日本のでは、1000年の日本のでは、1000年の日本のでは、1000年の日本のでは、1000年の日本のでは、1000年の日本のでは、1000年の日本のでは、1000年の日本のでは、1000年の日本のでは、1000年の日本のでは、1000年の日本のでは、1000年の日本のでは、1000年の日本のでは、1000年の日本のでは、1000年の日本のでは、1000年の日本のでは、1000年の日本の

各縣政府

組織拒否

堅壘

秋三十分にして都去した首相と右 到着するまでには多数の球形を動間し置大報告をなす端あり のが、 で通州里市民多数 (男人・世際連胱祖は本日午後三時間日首 軍職と行を共にしてあるが、 まれてある) は溜のみ溜のままれてある) は溜のみ溜のまます。

に要す決心である に要す決心である の興望を確はずして関の録楽に や否や又老猾なる英米の外交家 はこの發き疑葉に對し之を変数

軍制改革を機會とし 關東軍の配置變更 思よ懸案解決されん

のる。 関東戦(校都師職及び際立守無線 ことを、両東戦(校都師職及び際立守無線 ことを、両東戦(校都師職及び際立守無線 にいったの前線を守備すると云よよ にもあため横線を守備すると云よよ た他のあるため後深職へ職野の襲現 にあるため後深職へ職野の襲現 は他のあるため後深職へ職野の襲現 は他のあるため後深職へ職野の襲現 は他のあるため後深職へ職野の襲現 は他のあるため後深職へ職野の襲現 は他のからなるが、今日の職野からな数を観りでがいた。 を関係するが、今日の職野が不可にないとして自然を下が、 会職にあるな数部が関係であるが、今日の職野が不可にないと、大戦のが解析の部域を下が、 会職にあるな数部が関係であるが、今日の職団が不可にないと、大戦の部域を下が、 会職にあるな数部が関係の部域を下が、 会職にある数で守備域の部域を下が、 会職の部域を下が、 会職にある数で守備域の部域を下が、 会職の部域を下が、 会職の部域を下が、 会職の部域を下が、 会職の部域を下が、 会職の部域を下が、 会がを被数方面に移りと共に北部 であるため後、 の具はを変えるよとで戦失すべ、 会部を被数方面に移りと大場と北部 であるが、今日の職団が不可に移りと共に北部 であるが、今日の職団が不可に移りと共に北部 であるが、今日の職団が不可に移りと共に北部 であるが、今日の職団が不可に移りと共に北部 であるをと、では、 のは、 をであるが、今日の職団が不可に移りと共に北部 であるが、今日の職団が不可に移りと共に北部 できずにあるで大道方面を始める議議用部方 にあるののが、として接近が、 をで大道方面を始める議議用部方 におるののできずとと、 をで大道方面を始める議議用部方 におるののできずと、 をで大道方面を始める議議用部方 におるののできずと、 をで大道方面を始める議議用部方 におるののできずと、 をで大道方面を始める議議用部方 におるののできずになるのできずになる。 をで大道方面を始める議議用部方 におるのできずになるのできずになる。 をで大道方面を始める議議用部方 におるのできずになるのできずになる。 をであるが、今日の間間が下す。 をであるが、今日の間間が下す。 をで大道がでするが、 をで大道方面を始める。 であるのできずになるのできずになる。 であるが、 をでするが、 ののでするとことで、 をでするが、 をでするが、 をでするが、 ののでするとことで、 をでするが、 をでするが

防禦に努める支那軍

面會强要

佐志醫院

电話 六五〇二章

大さるゝものと見るべきであるが、新く岩磯氏に魅する司波部の態度決定せる以上同全権への法律で應定を決した。其の結果某事件と岩縄全権は直接関連せる事態なく徒って今後岩縄氏を削縄で及り原度を決した。其の結果某事件と岩縄全権は直接関連せる事態なく徒って今後岩縄氏を削縄で及り原産を決した。其の結果某事件と岩縄全権は直接関連せる事態なく徒って今後岩縄氏を削縄で変異素に対しての関係なび岩線全権に魅する司法 石槻全權と某疑獄 **帰係の事實な** 司法首腦部會議にて決定し 疑惑を一掃す

翰長首相協議

意見交換出数阻止の

政友會に むる事となる筈である

所の相違であるか

の決職に使り民政際服委員は海軍 事となったが、同後援命では會の を含むものとして之より脱退する 事となったが、同後援命では會の を含むものとして之より脱退する 會を聞き疑惑難策駆映の結果実験 を含むものとして之より脱退する 會を聞き疑惑難策駆映の結果実験 を言いるのとして之より脱退する のを聞き疑惑難策駆映の結果実験 を言いるのとして之より脱退する のを聞き疑惑難策駆映の結果実験 を言いるのとして之より脱退する のを聞き疑惑難策駆映の結果実験 を問きを明まりな部に既急感 を発音を関する。 を記述して、 を記述し、 を記述して、 を記述し、 を記述し、 を記述し、 を記述し、 を記述し、 を記述し、 を記述し、 を記述し、 を記述し、 を記述し、

露の侵略的行動

支那は決戰せ

治廢問題は目下英國之交渉中

土正廷氏記者に語る

果して問題せるや否やは現政

緊急總會

當分現狀の機推移することにならら出還した以上其成行もあるので 

機鬪艦建造

關東廳大藏省ご折衝 『パリー二十一日数字』佛下院海中委員會は日下海神中の一九三〇中委員會は日下海神中の一九三〇中の代りに歌鶴艦を神澄すべしの映書を本日振田した

是非明年度實施

**然南に特別區制** 

滿蒙博覽會開催 多數で可決 一時年後外雅の神定

最近艦級の成立を競 午後廿四日

青年聯盟議會第一日

田五話電 醫四四

水原小兒科醫院 外原小兒科醫院





日より響幅の管であるとと、し在 に歌し暫(加盟を整調をであるとと、 大すること、なり、近く簡明をに預 大すること、なり、近く簡明をに預 大すること、なり、近く簡明をに預 大すること、なり、近く簡明をに預 を構成して加盟を整理したるとき に歌し暫(加盟を整理したるとき に歌し暫(加盟を整理したるとき である

職分類院出設困難であら に意見一致し今後の善為指値は 職み異既刊撥は聴であらりと云ふ 研究會蹶思 家に一つあればよいので省政府」 一部では政府と解するものは一個 一部では政府と解するものは一個

四洮、洮昻沿線の 排日は盆々露骨

法相に進言か

交易や居位を禁止

濱口首相四下 

東亞勸業の補助 廢止論の成行き

度も現狀の儘推移せん

米穀委員會

東京計三日製	二十二日午後
東京計三日製	二十二日午後
東京計三日製	二十二日午後
東京計三日製	二十二日午後

身替来は右の外に買ひ入れ の間付職に震却した十五萬 の間付職に震却した十五萬 の間付職に震却した十五萬 の間付職に震却した十五萬 の所が四十萬石を置却し時 の中的四十萬石を置 の件 の中的四十萬石を置 の件 の外に置いている。

斯丹禮洋行 

遞信局員が 緊縮貯金 經濟國難に鑑み

の建設点業は込みにつき左のステ の建設点業は込みにつき左のステ

類の素をと用使って進行の手幣で と射谷の線定についても成業し番目の素をとするの場合となって、 を取長の今回の上次用数も此等に を取長の今回の上次用数も此等に と射谷の線定についても成業し番目 と対容の線定についても成業し番目 と対容の線でについても成業し番目 と対容の線では、対象をなって、 を取りまするが、は、 を取りまするが、は、 をなって、 をなる、 をなって、 をなる。 をなる。 をなる。 をなるで、 をなる。 をなる。 をなる。

建設事業 フ大統領の聲明 して販職べ中であるが、精神病者 して販職で中であるが、精神病者と素いてあって推議で、後のでは、井上瀬相、富田氏と であるので推議では時節検査大観 であるので推議では時節検査大観 して販職べ中であるが、 は時間の

意はを述べ戻い東京に連れて行 を選べ戻い東京に連れて行 を選が、東京に連れて行 を選が、東京に連れて行 を選が、東京に連れて行 からなどででいます。 ないまする。 を選が、東京に連れて行 を選が、東京に連れて行

今の法律では其の事が成

の際疑索服出に鑑み微樂脈の歌歌しなければならぬ事が多いので此

瀆職罪を擴張

退官後の金銭受授

嫌疑者の共通的好手

深夜に咲く感觸の花

次から次へ移動してゆく

(11)

旅客を吸收

皺道省增收案委員會

焼にとつて 酷明を實現

は年前の疲れ現はれてか元編少な、接職をついけたが後半二中大館

工職オミットされてからは益々そ く加ふるに翌月傷ついて過ぎRG

始されたが、今秋のYMCA主機の離合せとなった。試合は最初 五分より大道二中コートに於て闢 一中共に戦れ大道二中戦大連領 大會決勝戦は廿三日午後二時三十 南嶺工郷中等療校の部の復者大 大會決勝戦は廿三日午後二時三十 南嶺工郷中等療校の部の復者大

競馬俱樂部の

理事の選擧問題から 

紛擾擴大

甲埠頭における輸入艦賃倉庫はその暗黄色の恵大なる薬を纏たえて恐らら東洋ニナ

三段層の葉晴しい雑類の顔を確つこ

関を受氏でも

石本氏に辭任を迫る

大の如く勝る 一部朝理事等が不信行賃をなし たことは心外に堪べない、然し 局に病限して石本氏が離在する。 は大粉糠を重ねるに至るべく がなとしても歐適してゐる際に ゆかね 倶楽部の 勝来のため大

對零にて

**苦苔機**=電氣擴大裝置

映画館に――ダンスホールに

等年前一覧を得て一些零にて青年を開かる。 一覧を得る。 一覧を表して、一般。 一定を表して、一般。 一定を表して、一定を表し

の十二名出権、全部「指」「楽」 を互選を行ひ本社より離解の秀句 に戦品の審轄あり午後十一時般に の奈何。 

事件に

はな

込まれてゐるので果然物識を識が



自分は同

問題には反對だった

小橋文和語る

福和四年十一月十四日(日曜日) 全自年後三時三十分 ニューズ 日午後七時 コース ニュース

三、、八月・13 本・カ(一)集の中の七面 長二三権駆(三)域の結婚(四)ル ストメビルル 志賀邦峰 四、福曲 林の木 雙牛洋 小坂 曾外郷 国外郷 国外郷 国外郷 新流行歌紙 河田秀勇、編製やートン、囃子連中 野連徹 新流行歌紙 河田秀勇、編製やートン、囃子連中 大、天氣襲職立

はは本版した長友にいる所とて機を本語の完不ははし業る

な服でも 既製品部の大陳列

學生服部 0 大陳列

の豫約

冬の洋服生地新柄逸品 破格大英斷 會

見」

徳海屋の

高級セツトを積 界 各 交流式=電池のいらぬ電灯線より開ける 图

H

000



皆れ、は健立の街に沈みます疲れ 変れを知らない僧の太陽でも黄

~ピートより選手

カ ス 色 V

五六 X

夫婦者は彼れた 一月二十四日 念割 見切品

上り明日より大賣出し致します何卒御引立を願ひます店内増築中は全て休業同樣にて皇樣の脚満足を得る事が出來ませんでしたが愈

の場に自動車を走らせます

大連市浪速町三丁 2

特價品

山

各 東京風菓子謹製 地名 酒 産 屋 食

十日以内には仕上げ御手元まで御居げする事に致します今囘の太英斷開催十五日間中に御注文下さる品は十二月二新な地質と瀟洒なスタイルと最上の仕立とに基因して居ります徳海屋の豫約の素晴らもい人氣はその價格の低廉と高級にして淸 ります學生服旣製品は D 22 2 五日るり十二月十日まで十五日間 品大陳列會を開催する事になりましたが優良品經濟化大宣傳の爲め冬服地新柄逸明治三十八年創業以來の大催しとして弊店 ロング 陳

氣ま」が云へて急ぐに間に合ふ假縫付既製品は 弊店獨特の生地の精撰と堅牢は當店の自慢を

引の 奉 仕

夜間は九時迄)

四月に

本日は祭

| 東京二十三日競電 | 御大職後遊祷に観れ御親らも関し召され給ふ殿かなる御祭 | 東京二十三日競電 | 御大職後遊祷に観

夜をこめての御

の南

動た対は至せ来る動像して を対して はでいたと はでいたと

の如き日風で自職事人間の

日報院高等小野校商家部供従一日報院高等小野校商家部供従一

純益を献金

小學校商業部生徒が

二日安華編念行にて楽祭同日計

沖 機構整すると

一校音樂會

の職に三名退院しず日に 配着大職兵四名は入職後 しず日に

生活改善を呼び 一般に實行事項通知

機能支那維育年献では職て前す機 機能支那維育年献では職で前す機

大型流用作出量無数配由で起くと 大型音はは来る中と日粉かにも大地 大人の 神養 一部(使用)主任(更)法 機能軽便局級山底を主任は十八日 機能軽便局級山底を主任は十八日 は大温整部以より小林房太高氏と は大温整部以より小林房太高氏と は大温整部以より小林房太高氏と

兒童た

魚菜類の市價

作業は勿論其他の作業は 間に工夫する 他に掲げ全校生徒の領 他に掲げ全校生徒の領 を関する事 をしむる事 では「ボスター」 一国の が附してある外物品体験として日本 では「ボスター」 が附してあると しい過報を携する事 が形してあると が形してあると が形してあると

石炭を盗む

連累敷百名にる上

で サー日午前三時三十分與大和概の 大丁日四番。三四高点半瀬田県作 ・ 氏方海獺松側倉庫より種火し両倉 ・ 大丁日四番。三四高点半瀬田県作

石大学門主演の野なるが勝つ身份をあるが

彼に職

新皆祭の祭典

に観を辞すと、皆を鳴らした。 ジッグンノカタゴラノゾム 英観は、びくりと題を捌かした で、どかりを重卓の前の散験等す たけりずたらん仕事は深山あるん

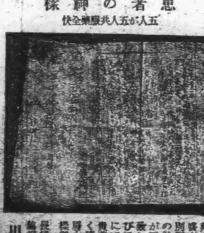
へそつと敬めた。彼は何を 歴史に続してみてから、ポ

さらと、不意に後女の彼らの福 なく実知子は足を止めた。風かや 歌にしては少し荒べしい無駄のや

代道と急ぐ難かな代謝の場所では、大連の場合を指の表して、

なくや夜の最のでは、 なくを展開し、 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないないない。 ないない。 ないでは、 出輪外海社談講京東 發製 賣藥 元

● 個に隣いつまで夜長の河上の場合では、 一方の一方でで、 一方の一方でで、 一方の一方でで、 一方の一方でで、 一方の一方で、 一方で、 一方の一方で、 一方の一方で、 一方で、 一方で 一 標神の者思 快全樂服共人五が、人五



●淋病治療の栞敷十夏の 

實驗書 進呈

岩里家

温泉で 名高 無効返金薬 に全部返金す (金属源付せり)

合理化をさけぶ 廿五日講演會開催

の防土を教行する

小澤 後藤の作 りた失業

書設立に関

型の整備影響の鑑賞者を頂かんと

「他の整備影響の鑑賞者を頂かんと

「一部に対け込み滞嚥をかぶせその

「ないのをである主要

「ないの思いする事が最も脱裂である主要

「ないの思言となる。

「ないのを表現して、一部に対け込み滞嚥をかぶせその

「ないのを表現して、一部に対け込み滞嚥をかぶせその

「ないのを表現して、一部に対け込み滞嚥をかぶせその

「ないのを表現して、一部に対け込み滞嚥をかぶせその

「ないる」と、なっのに行きつまれる日本の感望

「ないる」と、なって、瞬音はは清量地

「ないる」と、なって、瞬音はは清量地

「ないる」と、なって、一部に対け込み滞嚥をかぶせその

「ないる」と、なって、一部に対け込み滞嚥をかぶせその

「ないる」と、「ないる」と、「は、一部に対け込み滞嚥をかぶせその

「ないる」と、「ないる」と、「ないます」と、「ないる」と、「ないる」と、「ないる」と、「ないる」と、「ないる」と、「ないる」と、「ないます」と、「ないる、ないる。」と、「ないる」と、「ないる」と、「ないる、ないる、ないる、ないる。」と、「ないる、ないる、ないる。」と、「ないる、ないる、ないる、ないる。」と、ないる、ないる、ないる、ないる、ないる。」と、ないる、ないる。」と、ないる。」と、ないる。」はいる。」と、ないる。」と、ないる、ないる。」と、ないる。」と、ないる。」と、ないる。」と、ないる。」と、ないる。」と、ないる。」と、ないる。」と、ないる。」と、ない 要東縣日蓮宗扱墨寺宗徒を以て継 を東縣日蓮宗扱墨寺宗徒を以て継 安東縣日蓮宗扱墨寺宗徒を以て継

をの時、機の外には、全別の施 をの時、機の外には、全別の施 をので、その時、機の外には、全別の たので、そのと、後な等の後をつけ て水ると、機にびたりと観察を であったのであった。 といふのが大當のやらには焼き髪だ といるのが大當のやらには焼き髪だ

さらいふ倭女子の言葉に、奥知

おびやかすやもに観がした。

位稱さん!

得つてるたん

(167)

当時

滿日

との説が問局内に遊がつでゐる 物け開日月を送りつゝあるが近く 物け開日月を送りつゝあるが近く で東へ西海路順の地位につくべし で東へ西海路順の地位につくべし

原

です! あの人のいふととは信用です! あの人のいふととは信用です! あの人のいふととは信用

は、どつかりと関る。 かび上 ないでしたが、そこからは、 とれたる を とっきりと関る。 ない とったが、そこから生態のたい、どつかりと関る。 かび上 ない、どつぶりと聞いるのを がび上 ない、どつぶりと聞いるのを がび上 ない、どつぶりと聞いるのを がび上 ない、どつぶりと聞いるのを でがない。 まどだつた。 たまけにその際にない。 たまけにその際にない。 ここがらない。 ここがらない。 ここがらない。 ここがらない。 ここがらない。 ここがらない。 ここがらない。 ここでは、 とったのでは、 と

長文子のいが聞えた。

放して持つてるさらな気がします

のものかせしめ全家人を練りあげ まさまの家には何片が悪いない。 大口部屋にあたる同居人王延応でした。 大口部屋にあたる同居人王延応でした。 等、間王、聖・廷のを第明神でした。 そうで多様所持の四人組織整配人、 大口部屋にあたる同居人王廷応に そうでものを第明神でした。 そうでは何片が悪山ある皆、 をさまのない。 そうでは何片が悪山ある皆、 をさまるのない。 までは何片が悪山ある皆、 をできない。 をできなない。 をできない。 をできない。 をできない。 をできなななななななななななななななななななななななななな 二十四日機翻補機果樂部通場開き 上り出場選手左の通り決定した 人類道 遊撒川二段、小野初段 人類道 遊撒川二段、小野初段 本道 松田三及、木尾二段、宮 道場開き

出場選手決定

もはいつたやうだわ

これが取のなかだからが際

緊縮幹事追加

聯議會代表

岩見遞信書記榮轉 ■ では ・ では では に では に で に で に で に で に に で に で に で に で に で に で に で に で に

原職便局滅信曹訓料貝長久氏は国大連滅信順工御殿に栄職後佐

类推誌雜聞新名知

版 版 京 京 毎 朝 日 朝

主婚之友

動像デー決定す

地方事務を削削しの家屋修正組合にては開原大街二三

配ン本が因於はたて帯肺な肥よ酸素

であったつたら、うまく欺し 、さうして若し何盛かに難し なやりだつたら、うまく欺し

ばせて、自分の部形へ戻つて返して異際路に美を奏ふと、題音を懸けばせると、題音を懸けばませりと唇を曲けい で、 これな影像の機関の総果、 先の、 なんな影像の機関の総果、 先の、 なんな影像の機関の総果、 先の、 こんな 職も

の何處かの部屋で、自戦を避けた 利を踏み占めながら、心にさう時

事となった

紅ななので

ス連市松林町七 鈴鹿大然常の安東駅大和棚道二丁川四ホシ華房。中天育韮町十四・補・州 華 房のよぞ天育韮町十四・補・州 華 房のよ 、三銭切手封入申込次第規定書送附す、金屬製美辻看板百枚特約店名入れ進品 先約各町村一ケ所限り

深久口 深島增

薬店に限らず

大連市高級町公司東三條三四  美術を通じて

日華の交驩

傑作揃の現代日華美術展

ふるものを生じつふあり種母政友館の通誤激素化するときは容易なられる歴生ずべしとされてある。 東京の内に乗り難して国民の文技を背景とし玉神を期して輝かべしとの観識を襲撃が成っては内閣議場の激調部所に存在するの質問を実におるに及ては既然福舟に戦ひを登し福祉との中傷的風説の流布される根源を襲せるもの二三あり都綱全閣はじめ境内閣に動する種々の中傷的風説の流布される根源を変せるもの二三あり都綱全閣はじめ境内閣に動す配して福祉部内には政友館と通謀し張口内閣議を襲せるもの二三あり都綱全閣はじめ境内閣に動す配して福祉部内には政友館と通謀し張口内閣議を襲せるもの二三あり都綱全閣はじめ境内閣に動す配しては不可能のの政策を以て不翻憶であるとしてあると理られての成行を注目されてゐるが危害氏が斯の如き態度に出でたるにないては福祉階の政策であるとしてゐるとはその成行を注目されてゐるが危害氏が斯の如き態度に出でたるにないては福祉階の政策であるとしてゐる

| に設定氏外数二十名世際時間問題| 一二月中に開音の簡単を開き加藤平四郎、山| 二月中に開音の簡単を取り出き疾動中| 二月中に開音の簡単をなし同と時動者文庫は十二月中に開音の簡単をなりません。

内訌を起い

可法權干涉と

取の襲楽に戦用禁電のみ其後通じ一までの報告によると頻震戦ととの満洲里面の通信は十七日野農 難以西の状況は不明である。今日

政友前代議士會決議

福級上げ高は今日左の如く競喪さ 前線の黑奉兩軍は

機略にては完全に鎌路運行の

呼海鐵路敗稱

月下旬約二週間の量定で東上す 本動かすかられ、一度偏零を今 は一ケ年六十萬城館であるも之は では を動かすかられ、一度偏零を今 は一ケ年六十萬城館であるも之は と戦歌が開発に続する石炭のパンカ

四部戦線惨敗の原因

第二囘靑聯議會

けふ愈よ奉天で開く 

利下げ

電話二百個新設連鎖商店に

埋頭は

率公するのには此際背

次第に使用する

| 瀬川野電定の飛電、一臓の開電に関連が関連を限らる機

であるのか、対らぬ所が支那 用平定の飛電、一間どちらが 関本定の飛電、一間どちらが

職職なくとも、今後福府の御機・ で頭はんと現内閣、興業を選く。 で頭はんと現内閣、興業を選く。

取りはやらぬがよい。

十々竣工

內科專門 安富醫院

一生安心なる=求職墓

出來且保権の貸め「ラクダ」

実用的日用品なり 沢品ではなく

雜貨店、賣館、 ○の要量分厚で同つれに送ります

A. A. P. K. T. F.

日支政約

不通の響

大阪市東區南久太郎町東京市神田區銀路町九

用品品

目場

术 せば

奉天派要人に

エジア、解討、通商各局職長数級 出を練るため佐分利公便を中心に 東京十三日海電 外務省では廿

**好威を與へた** 

仙石満鐵總裁の訪問

母た支那の監視勘談等を逐一群滅 要求列画の転支態度能感に使って 要求列画の転支態度能感に使って 要求列画の転支態度能感に使って

來連せる林奉天總領事談

午後五時散ぎした

青島各紡績

一齊就業

愈廿六日から

楚は が駅一般に全ればこれ棚の関節だ くとが おい、東京 に関うしいかに使退せよと観ぎ土 ロとが はい、東京町 不接

參謀總長後任 金谷、武藤兩大將

けらる」のではないかと見られて

近く開店の連鎖面店では営営り舎 でなっており、 工事實験を観光するが石は普 付入れ、工事實験を観光するが石は普 とになってあるので診聴側安のことになってあるので診聴側安のことになってあるので診聴側安のことになってあるので診聴側安のことになってあるので診聴側安のことになってある。 屋より五厘月下げ七分と改称したトラリヤ中央銀行は金巻を七分五 部、茂、軍司令官の団員一行都、茂、軍司令官、原島年、北村與策、伊興韓電廿三日卿』はいかる鬼船、旗特電廿三日卿』はいかる鬼船、旗

大觀小觀

という。 呼吸器病

〇大印弦養装は牛乳の歳分

吳中日兩代表の挨拶

軍洛陽

を占領

一段落

力の作大なる所以。 対職を興ふ、政策監領より、機の 力の作大なる所以。

ぬだけに、個の観春間和を見る 中日紙代学術展開く、政策を含

四北軍發展覺束無く

使し得了滅く者ョ方配に返郷し今中戦前の状態に跨るに至は中央軍の洛陽占領を以て一既派となった。西北戦は去る十四日登制方は中央軍の洛陽占領を以て一既派となった。西北戦は去る十四日登制方

時局の中心は廣東方面に移る

か、角を受けた刑事連は一十の所持者に就いて捜査せずの所持者に就いて捜査せいの心雷

**製床の下から** 兇器類を押收 張は山東生れで馬哈

Ħ

を全でながこので小刀を持つたました。 同されたので小刀を持つたました。

期山季町に居住せる知人張運城を 工管部所 素素縣生れにて今年夏旅 か たが本月初旬張運城は急病にて来族し開米同家に同居中で

せんとしたとこうを正野巡査に能! 及びサック入純支那脚盤が使用する及び情報部氏を強ふためコツ巡! 分泌網盤島質刑事部長の軽ゆる一個できせんと大津町開東戦場 ある、尚張の鞭床の下には双渡り 大統に戦争を高いで置いた。 一般できせんと大津町開東戦場 ある、尚張の鞭床の下には双渡り ある、尚張の鞭床の下には双渡り ある、尚張の鞭床の下には双渡り か変の変越った。 

B

現人連捕の股形を開くに乳村主任、 を見て、現人配出の悪ひなしと見 果、一支人の口より帽子を関一の手腕・ を見て、現人配出の悪ひなしと見 果、一支人の口より帽子所持者の を見て、現人配出の悪ひなしと見 果、一支人の口より帽子所持者の を見て、現人配出の悪ひなしと見 果、一支人の口より帽子所持者の を見て、現人の造留し 手触かりを得て、成当個職し、二 を見て、現人の造留し 手触かりを得て、成当個職し、二 をして、関係の手の高温が長期高に外子供三名と成をまべて でいましめて、ヨピコの酸を動り先なる 中らせず折重なつて逮捕し高手小 もし、同僚の鞭役成ると贈り自動。 をいましめて、ヨピコの酸を動した。 をいましめて、ヨピコの酸を動した。 をいましめて、ヨピコの酸を動した。 をいましめて、ヨピコの酸を動した。 をいましめて、ヨピコの酸を動した。 をいましめて、ヨピコの酸を動した。 をいましめて、ヨピコの酸を動した。 をいましめて、ヨピコの酸を動した。 をいましめて、ヨピコの酸を動した。 をいました。 を表に対象した。 を表に対象と、 を表に対象した。 を表に対象した。 を表に対象した。 を表に対象した。 を表に対象した。 を表に対象した。 を表に対象した。 を表に対象した。 を表に対象した。 を表に対象と、 を表に対象した。 を表に対象した。 を表に対象した。 を表に対象した。 を表に対象した。 を表に対象と、 を表に対象した。 を表に対象した。 を表に対象した。 を表に対象した。 を表に対象した。 を表に対象した。 を表に対象した。 を表に対象と、 を表に対象した。 を表に対象と、 を表に対象と、 を表に対象した。 を表に対象と、 を表に対象に対象に対象と、 を表に対象と、 を表に対象に対象と、 を表に対象と、 を 車を帰って収入を本場に が、鬼行時長館かに二十二時 疾風迅能解な全場員の透過に コペーセントの捜査的効果を である。 

して行く、

信義天命者二十三日余』 日安閣合 信護と記憶は張澤良氏な外輩信長 時二十三分開照同十

來月三日から

| 本語 | 大連二中光づ像影候補の外駆組 | 大連二中光づ像影候補の外駆組 | 株 中 山 原字 住 閣 | 大連二中光づ像影候補の外駆組 | 株 中 山 原字 住 閣 | 大連二中光づ像影候補の外駆組 | 株 中 山 原字 住 閣 | 大連二中光づ像影候補の外駆組 | 株 中 山 原字 住 閣 | 大連二中光づ像影 | 大連二中光づ像影 | 大連二中光づ像影 | 大連二中光 | 大連二中光 | 大連二中光 | 大連二中光 | 大連二中光 | 大連二中光 | 大連二中 | 大連二中

大連二中コート 相解のでの取扱さ 得 断 51010102 トーマスタツク社では旅行者の便審判 小池、田島

通遼方面に

スト發生

特産の出廻り期に

農安に入れば長春も危険

も影響し具長歌の如きは最も危險にさらされるもので一般に影響、 寒地に溶行して昨年の如く震安方職まで投入ずれば特徴出画りに 機器があるが目下特別出題の田鑑期に入らんとしてゐるので蒙古 情報があるが目下特別出題の田鑑期に入らんとしてゐるので蒙古

囚人が看守に

だが今は振荡しぐ裁議をじ乍ら続けていまり其機器の急襲に優んだ機

めの生活を設つてゐるといふ。

刑務所講釋

浪來町戀の放火犯人もこゝに

嶺前屯刑務支所物語

る、側頭は山泉にある時は馬喰を 成功を喜び **満州した同所では職場長を** 瀧署長語る -0-

庄野巡查を刺

遂に逮捕さる

自宅へ逃げ歸り就寢中に就縛

兇行後廿二時間で

発行時を超る値かに二十二時間にして逮捕され家棚艦員の努力は報いられたはせて街を縦横に鳴り響く獣笛の背に限りを離まされたが、全獣員を挙げて必死の活動の甲斐あつ野瀬を発演に刺さるとの見報に青え切つた平和郷旅唱市は二十二日午後十一時四十分凍つた空氣を

退留の帽子が

商宅後勝粉で残り落したものであ 右小がは島度が附着して民たのを 右小がは島度が附着して民たのを

兇漢を斃すまで

死んで吳か

れるな

氏愈る危篤

本重本山上邊

意識不明に

瀧著長の悲壯な激勵

疾風迅雷的の活躍で

短時間に見事な逮捕

レマンソ **本紙讀者** 

陷る

中コート 13 森西 8 海 14 佐 3 岩 8 安

先輩組が敗れ 展電板が射速した間めであるが になりを順は配に危寒となり数回電 が対したりを痛が観光であるが 大商50 [32] 24 滿個

全滿籠球選手權大會

一中と商業殘る

世界中通用する

11 新月 16 紀 日本 0 下 須 日 山 中 0 日 日 山 中 0 日 本 0 日 日 山 中 0 日 本

は英、米剛園銀行で被行するか切付等総合概等の配飾なく現金別級小野手は行することとなったが映小野手は行するため今度版行用小切手を設

3

近日

陳店

||一十二日数||デヴィス|

例恒

月二十七日午後七 常磐津勝藏(尾上朔五郎門下) 催生

へ行つて死ぬ

Retwest - 優良品の各産地又は問屋處分は處分品を努力に努力を重ねた、最大を表別を重ねた、最大の場所である。 最近の名産地では問屋處分で、提供いたし、全員『サービス』のとします。

の限りの限り

をに含ま

換いたします。
以内なれば何時にても、喜んで現金と御引したより高價なる節は、お買求め後一ケ月萬が一にも弊店販賣品にして、粗製品或は

會

B

と思はれる

点豆を食ひ

六名中毒 で二名死亡

に二分する

旅行用

の小切手

スクツク社が發行

補鐵でも採用か

森川女史逝く

なりは他のかという

哈茨娜 | 4878 6807 \* 店 4341 沙河口 9318 日曜の催物

白

野和野森館町區八面別 き製京館町區八面別 ・き製京館町區八面別

雲隠れ

。 周日三りよ日五廿 (店開半時八前午)

連大

嚴冬の御用意は? お徳用な御買物は只今

仕

あれば!!

惡酸

行のある料の

かちだをこしらへ同り選ひになつて彼等の

0,.4

でことに肺病なスモシカを撮影するためカモシカのやうに形するには寒風や師が大寒な苦心をしてゐるのです。こ野するには寒風や師が大寒な苦心をしてゐるのです。こ

共に鴻飛の色彩の繋かな内容の明るい景は小原生に照る

即被示動

堅正不

店約特洲

はどなたでも登文へありません、

| 李 十 明、[] 李 正 雅、[] 李 | 明 

落してど

世界第一、

良品廉價

東陽州滿

京唯獨口奉祀

美金近石資平

田家江原井間 韓 時時 計样祥井計計

**基行行行店品** 

皆さんは人間で路の原野にすむ一獣の生活状況を覧し

活動寫真技師の苦心

総鑑を神覚になつだことがあるでせる。 あのやうた高度

Bのが配さったがすべてお役所の講じないのと同様ぢやないか

A o 一つの間校に不統一人で

三四年程度、一個十五字精七十行内外三回完了の一話

版性の病気を持つたものはさらしから膨脹膨脹の結果激員中経

健康西断の結果改良中部

を開製したまとで治療の方法を 習述のやうな配者が患者の例果

をく取らなければ、それは恰

ものだよ

仕事といふものは大ていそんな

たければなるまい

見渡鏡物」と朱書のこと

十二月五日限り

人でもあるとすれば多いと言は

しい所を確つてゐる族面人だつ

そんな人里を睨れた

を聞いてゐるんだよ。これから

接師を巡回させて戦校教験員の

健康診断をやってあるぢゃな

間に病菌がいろくの機会に にもかけないであるのだがを

よく数本も申分がないの機能

がどうも無に入らない。最近

つたら良いと思ふっ

新年兒童讀物

ないために周囲のものは紫外

く又病狀が裏面に明らかに現れ

布されてゐることを思ふと歌慄

低して置くといることは明らか

あの産の病類が本人の自覚も消みの産の病類が本人の自覚も消化して

間果となつて現れる個染病であ は円られないね、これが直ちに

君のやうな存領なことは言つて

しかし僕は子供の父兄とし

ある斯うした関係をそのまりは

Ao それは分つてゐる。しかし如 何に総密な難欺談感をしたとこ

Bo臓が出たり蛟が出たりするや うになれば相な危險ではあるな

かり定気になって、さら言って しばらくしてから、その人はす

ほんとに人なつとい

避ってゐるのだいし

はあるまいとさへ思ふほどでし 一で小父さんは何を方々で要り

Aの 間東岸壁物営局では数域の総 機 疾動者に転して従来 機 川門

がるなけりや、もちつとで陳え死

までの間で、この日ほど繁しい事が、軽いなつて又お友楽に命へるのです

手る所だったよし

そんな珍しい

からうか。何、小父さんの商賣は

を人質ひとでも思ってるんじやな

一方前さんらは、この小父さん

お前さんらも屹度知つてるもんだ

話

不思議な

小父さんは子供の智ふ意味が判やないか」

「だって一つもお削物がないじ

小父さんは吃霜した様に子供たたからでありました。

た。小父さんは養ものらしいもの

味料さらに訳ねまし

を一つだってく持つてはるなかつ

のでした。 だを聞べたり、説を投げ入れ を歩いてるるんだよ」 の見える静かた村も、いろんな所ですして、それはもう一生戦命な 小父さして、それはもう一生戦命な 小父さして、それはもう一生戦命な 小父さして た。兄妹は物珍しい話に聞きほれ兄妹に話をし始めたのでありまし

ぶやいたのであります 「何だらっ 「角らんかな」

兄は妹に目眈をするかの様につ 小父さんは、にこにこと笑ひま

「冬ですつて」 「小父さん、愛つてるのは「多 度は密を費るんだの際がすぎると

多を賢るんだよ。も少し立つと今 「つまりわっ小女とんは秋には、妹は根在な難をあげました。 一ので圧動して了ひました。 いんでねし

川僧冬だけしか搾ち合はしてゐな今度は夏を費つて歩くんだ。今は 兄妹はあまりに不思議な費物な

Aoもとより抵抗力を強くして置き くことが最著の方法だ しかし病原と断つことが最も近 最も留意してるる智の、否範全 演だ。そして少くとも概生上に くことは大いに必要ではある。

管の壁枝が斯らした眼壁に関しなる未来の國民を養成するべき 落ちないことだ て無関心であることはどうも腑

兄童の健康問題と

字校衛生

二人の父兄の談話

醫 曾

者員

的首座一题

お菓子の國 新刊兒童讀物批

金融社出版の見意識物としては まで幼児の心理を捉へでゐる。 いづれも子供らしい無邪無に明散められてゐる。武話の内容は 名供きでオクワシックニ以下十 職の幼年同き重話が色刷りで て悪い事をして歌祭に引っ れてしまふ、かやうにして 酒を飲むと何もかも忘れて た通坂町などの、遊くわら ふくせがある。このやうな いや歌などで館のない男が せて西をのます。人間 ふ者か知らないが、 此れらの所に居る女が

お取らない。定情は一層三十億 がアプノーマルないやな感じしがアプノーマルないやな感じし であるが少し高過ぎるやる

33

だからまる抵抗力を強ぐして置

兒童の作品

緊縮の敵 他國教育者が認か其三分一現在我國で高に費やす金が 個器である此十五億個の合

年一回全店

**賃大賣出** 

群養

类 行

使はれてゐることばにも無難は ノニやその他の難酷に一度殺表 たものが大部分を占めてゐる れは何人出来る物ではな すふのを一時にやめさして 酒を一時にやめさしても にようけさすのである。

キルト ティニ ミンナガ ワイワイ シャヒマシカ。 センスキティ マモノ ナカニ モグツテ モーセンスキ 大チャン ツイタラシ カンパンデ サワイデ パウエンキャウ ノタンケン ガタ

思い切

った提供品

磐城町の

一日より二十八日まで

WINDSHAVANIA!

数場の中にも人が無合してゐる

金を控

庫品

額大賣出

安狭町交番属

たばた商店

等洲

特 白等

二二安积和值

道具

額品掘

出も

0

山

正月用品は此の賣出に御買求置き願ます

通

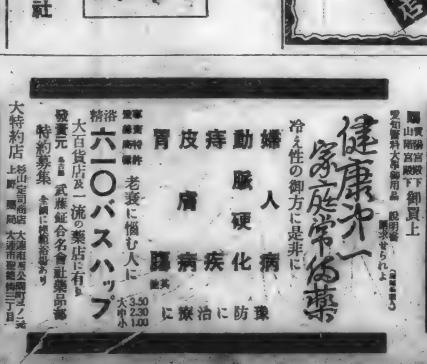
て行くかと言ふと、大油 う言ふ風にして風のやう 三割近值 九日マ DA.











せた .

3

ラ

ル

人にく魚弊 前召味翅樓 金上しのの

御簡は子一便安 樓 雲 慶 一七二七話電)

がいて 御利用下さい

際に整へた着い飛子へ九右衛

では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でもの、 でもの、 でもらのだった。 でんでもらのだった。 でんでんだった。 でんでんだった。 でんでんだんでんだんでんだんでんだんでんだんでんだんが でんだん でんでん でんだん でんだん

ひきつたやうにだった。

わした要つ

大田 (1) はらく物へた上 できって (1) ではらく物へた上 できって (1) ではらく物へた上 できって (1) ではらく物へた上 できって (1) では、 (1) では、 (2) では、 (3) では、 (4) では、 (4) では、 (4) では、 (4) では、 (5) では、 (5) では、 (6) では、 (

おんな形い風間

才殿も購入も悪煙へ足職ったか人である。

軍二二〇〇〇番

館員一同

野名被歌目深瑙鳴倉が催される に於てゆたか倉主催の下に麻澤吉 に於てゆたか倉主催の下に麻澤吉

磐找町

婦人の手で

'井

内科專門 櫻井內科醫院 大連市愛岩町(天金前)

構造-計算-鑑定 宗像建築事務所-監督宗像主建築-設計-監督 宗像建築事務所-監督

元氣

になって、思はの大事を激起す繋がありまずから、低い内に思く治しいものでありますが、その影響で、過失等の難には

又、ゼンソク、百日ゼキ、肺病のセキ等の烈しいセキは、窓風吹

て代舞はねばなりません

寒さに向ふう。チョットかぜを引いてせ事が出る位は誰でも消散

を愛用致しませら

高速度生円

下さいませ。

を押し並べて、恐の酷から不思議 と少女の千枝が、目白のやうに頭

が別書の 部子 が別書の 部子

と話を歌め

職十郎は苦

B

は思はず悪

官職の名は郡の名は郡に集

んだ。

といよのだらう――思つてゐると 「さうか、これが動修寺の……」 と大きく顔いて戦十郎が、日磁 ながら青い路

寄って行ったの

あるのはおつねと発真と幸の三

「あわを喰つていきやがつた」 焼いて、よと繋がついたやらに 焼りを見ると、融修寺の魅子とい あ男が、幸の手をとつて泣いてる 見送った陣十郎は冷笑だ。 場所を乗せて配出した。 を乗せて配出した。 会が開催されるが主催者の大連常は大連にお酬染であるが、国府者以外には軽り其風情が解けつてる以外には軽り其風情が解けつてるない。 国府者 (四)

平

(178)

雷自

拾

巻の行方(五)

十八日!

佐と雄友連で子供心の物質似から 要太夫は少年の頃は、この家元岸澤 要太夫は少年の頃は、この家元岸澤 経大なるファン諸 仕申 候

他の關係上まだ不 の御期待を裏切り した。私等は折角 備の點が御座いま 彦御の期待裡にあ りました新映畵殿

なりも語りの質味を示してあるでは提太夫より一かも眠れず立歌

ませぬ様、完全な スター各新聞紙上 は公開決定日はポ に致しました。倚 を延期致します事 め已むを得ず公開 工事を施しますた にて御知らせ致し 面國

東行延期さる 東行延期さる とり開節式を奉行したが工事が兼 とり開節式を奉行したが工事が兼 は二三日間延期された

高見貞衛監督

**衰表の日を御期待** 大日活館

さきに富澤進太郎監督の入武を見して名歌を臓はれた何の別歌をして名歌を臓はれた何の別歌をして名歌を臓はれた何の別歌をして名歌を臓はれた何の別ないままだマキール。日本アロ、瀬合プロ入あつて

八日より特別與行 演主助之體形月 督監郎太金上井 港 田 沖

RR

・一秀田代子・哲井年・一及野天・機制・子様 れけた出は學大 書映中議會社、演主代絹中田・稔田高 出作智能郎二安津小人才きしま笑機 

をよるがありのむと目に見えてよくなり、脚分離いのでも踏出いてものはいれてごらん、悪骨は十八條、五のんでごらん、悪骨は十八條、五のんでごらん、悪骨は十八條、五のんでごらん、悪骨は十八條、五のんでごらん、悪骨は十八條、五のんでごらん、悪骨は十八條、五のんで用により縮入病と慢性

お肌に御注意

遊ば

世

づく どなたも 寒さ! 素脱をととのへ

総かくしを跳ぐ た化粧林

ヘチマクリーム 続おしろい下に懸難し



月廿三日藤 白き薔薇 と舞塚

は

するも副作用なく解熱作用確實なり病源不明の發熱等の適確なる治療及豫防劑にして連用感冒、流行性感冒、肺炎、氣管支加答兒、腸チブス熱

特發

町誠 市井昭 昌 Ŀ 堂行 洋

**今のセキ**は 油断をすると セキにヨ 冬になつて 五十個(四日分) 重くなる!

窓管枝カタル、眼喉カタル 受い すから、全の内に一颗も早く手幣をせればなりません ですさぶ多になれば益々ヒドタなつて、果は命に係はる事もありま 第天を中華には、**音**節に黄用される鏡頭弦振振素。 サンタイド」を 寒に聴彩したもので、キキメの優れてゐる事は既に定野があめ

れずに満んた」で高んで下さい 會

服んて「お話で

天堂 株 式



張發奎軍

職職の時間 一般の動物を表現である。 のでは、 ので

全體を通じ分解作 英観河質牧に成

英徳に進出

現廣西の將領再び寢返つて 懲よ張軍入廣近

「香港市一日、競々」 ・ とうでは、 ・ できる。 ・ でを、 ・

治廢問題は目下英國を交渉中

王正廷氏記者に語る

の侵略的行動 交那は決戰せん

軍縮進

る事はなかるべく

澤は二十

尚新荷豐富到清致

民族間音響

洛陽方面にて

將軍優勢說

西北軍は臨汝で交戦中

開に は中央軍価の子に属したと、東部 は中央軍価の子に属したと、東部 は中央軍価の子に属したと、東部 が表演がを奏し浴臓は十九日 で西北軍は を表演がを奏し浴臓は十九日

依然こして 消息不明

香 南島に依れば河南の駅局は左の如 | 洲里保障占領歌につき我が織領事 満洲里の邦人

形勢急轉

治權撤廢を

聲明書發表 右槻全權

通貨政策を支持

年內上支那側宣言

對内外的政策上から

・ 会議へ出發前に ・ 全職は顧民全職の支援を与て職人 ・ 会職は顧民全職の支援を与て職人 ・ 会職は顧民全職の支援を与て職人 ででは三十二日夜左の申合せを行 で歌は三十二日夜左の申合せを行

滿蒙博覽會開催

法相首相疑議

度し間強の某情候に繋する照状館 して異るが某法原事件の収職べ進 して異るが某法原事件の収職べ進

某重大疑獄事件

檢學打切りの

命令說否認

間氏に一任

を示す映画的影響管部を発するに 数の物域に使れば園民政府は水月 数の物域に使れば園民政府は水月 の物域に使れば園民政府は水月

政上の選出からと見られてある の意態なきため面目上と且つは内

本本定のため献は自ら関東に出 耐窓に置め更に関東方面の反政 都に選出せる西北単を刺繍し一 がに選出せる西北単を刺繍し一

策を講ず

「東京十二日登町」倉管福相の漢 は直相が既はお摂金を開いなっき あるが政府館は右につきをの切く

二十分に取り渡口首相と製脈の散動を受験に思慮って約一、

政府側の縁

首相訪問

注目さ

不日倉富福府議長との倉見内容に不日倉富福府議長との倉見内容に 顧問官打合水 濱口首相

青年聯盟議會第一日

たが氏は脳及静謀脈舌を担続した 112 とまりくなど、こことよず 前見管行委員より辞襲脈舌を受け なくも来事件のため島東は七き風 「東京二十二日及電」幣原外相様 取機を複合管行委員中川良長男其 なくも来事件のため島東は七き風 「東京二十二日及電」幣原外相様 取機を複合管行委員中川良長男其 なくも来事件のため島東は七き風 「東京二十二日及電」幣原外相様 取機を複合管行委員中川良長男其 なくも来事件のため島東は七き風 「東京二十二日及電」幣原外相様 司法官異動 辭退勸告を 若槻全權拒絕す · 永富 · 貞平 車縮後接會實行委員と會見

不亞勸業の補助

明年度も現狀の儘推移せん

東京銀行團が申合

の卒気が騰されるに至ったに鑑み

地氏(奉天總領事) 十二 |文書線||同上 書役)同上

田五松電

永原小兒科醫



交易や居住を禁

開原銀行の

上場期

原における特配別上場問題に対ける特配別上場問題に対ける特配別上場問題に対する特配別上場問題に配にはその影響ととも十二月中間頭と大きして反映をしてるるが常記はを次の特別を大きして反映をしてるるが常記はを大きして反映をしてるのが常記はを大きして反映をしてるが、大豆、は、一大

一十二日首相官邸で開発している。

廢止論の成行き 建議案可知

二月午後二時より海粉曜前に於て行はれ筒員總數九十七名中川院及十七名で連部無記名演奏 「新月入五本大角大理事に當選した 「新月入五本大角大理事に當選した 「新日八二本 (表布七以本高橋(括) 五四本石本五三本大馬是枝四一

以下収締役全部経表を掘出した の役員選挙

観の仙石總裁

関際労働會議が 郷のの如くである 双電 廿二日の防臓

四洲、洲昻沿線の 排日は益々露骨

1.ハルビン特徴二十二日数 から 東北政治を設めへ各省政府から東北政治を設め、各省政府がは東北四省の政治和機能が開発して東た、然しら時間尚早であると提合して東た、然しら時間尚早であると提合して東た、然しら時間の形と脳がに政府と限するものは一周を発表してあると、然した政府と関がに対して東た、然した政府と関がに政府と限するものは一周との命令の総派と和機が対応が設けられ行いた。

**組織担否** 

由に許可するやう快覚したと

## 秘密のダンス倶樂部 タイヤ針が接吻する 尖端をゆ を吸ふ

ため、後紅色の壁にはづんでるま かだらかな外輪線を浮かばせて

職が呼吸づきました。 かが呼を買ったやうに軽やかなどが が呼を買ったやうに軽やかなどがが ができました。

海に向ってるる。 一大連富士がその背後に黒人とした。 一大連富士がその背後に黒人とした。 一大連富士がその背後に黒人とした。

を輝かしく限らします。これを対しつて客人 田のボーテの最が関かれますの職が構出は若い男がさなくば女の職い権田は若い男がさなくば女

る人職等的なメーキヤップです。おホ、人間を出しはせぬかと思は 太陽様が見たら手巾を唇にして

は職機構の灯が北麓にふるえて見り光のをほんのり焦がし、中服に

製狂いた潜い歌曲

重傷者が

+

一十四日

はK夫人はすんなりした細い足を師、さうした紛然難然とした中に 3る某大會は戦のは、初か戦後では、これた电れながらコフモボリート あるのでした。 職に常安でいかサー日午前八時三 中内配町五歌地浦県沙洲ロエ場戯 初工場内において負傷せるにも抗 都会した職山の死亡については気 都会した職山の死亡については気 がある。 対工場内において負傷せるにも抗 手術中絕命

な、静的ですわね」 やがでパレンシャー 

丁更に大連解院では職山を加局には

船を見やる主けの機像を忘れては 観線は悪い水平域に澱いてゐる河 デヤズが鳴り出しました。 の眼を以て見られて居っが、

女はどずらん

人、父がドイツ人で上海に生み悪人、父がドイツ人で上海に生み悪力が日本

に爪立ちしてるます。酒と香料とルの靴とフェルト草植が暗除一杯

招來する は階場を指 であるから此の際元本氏が静低し で表るから此の際元本氏が静低し で表は名歌理時となり老人役として らは名歌理時となり老人役として

(10)

## でリズムで浴切つた心を腰にを大きないり、ハルセロナの一はかり ……ダイヤ餅は のリズムで浴切つた心を腰に 英皇室へ御答禮に 尚松宮を御差遣

| 宣二十二日正式御沙汰あらせられた、宣仁親王殿下には明年六月英國に御夜ー公殿下御來航あらせられたるにつき右御答禮として高級宮宣仁親王殿下を過では最頃英國皇帝陛下より天皇陛下へ御贈進のガーター瓢章将呈のため本 の御豫定で御旅行中は別に御假名を用ひさせられぬ御由である

の御意棚で目下草で秋父宮殿下御り1、トルコ、ドイツ等を御巡覧の側に到らせ次でスペイン、イタ 後に解決 厳重抗議で

等されたいと敷脱い希望を開陳した、之れに跳しむ本氏は考慮をする冒答へたが異して離低するや疑るとして跳とされ居り、又が低するとしても是枝式がおいそれと理事験を受した。

關係はな

人事件に

ゆかね。

自分は

同問題には反對だつた

小橋文相語る

時間いてあるから多少の關係は氏とは非常に往來してゐたと常願がは持つてゐない床水君と其際に往來してゐたと常願がは持つてゐない床水君と其明がは持つてゐない床水君と其中。

滿洲撮影

明年六月英國に御渡航

宮内省公表

工場を健康し、彼等の銀行は係止り不良工人の集職が暴闘化して各でして各でいませんの集職が基別化して各では、 統領・

費所大前に於て標 ・ 」高松宮殿下に

遊ばされ御都台に依つては五月始 ある、開版下には先づフランス、めの香収丸にて御出張の棚都合で

権選案機の鹿島丸にて御鹿島立ち

競馬倶樂部の

紛擾擴大か

理事の選擧問題から

石本氏に辭任を迫る

公式御待遇は一週間

看々ご御準備する

否認

決議を可決

全權の

呉樂部の

何 で之を権にとつて膨明を覚現すべ の と 臓が膨明してある事質があるの

総込まれてあるので果然物職と 「抗事を 様けてあるが、二十二月行 が、二十二月行

整來のため大

極度に悪化し

を枝氏の落選は成

警官に暴行

青島の不良工人

明人と記述。上、長地震の場合は影響があったがその気相は愛場合は、中部理事以外のもは影響がある。気相は愛場合

**応空輸を** 

春の 四月一日から

値下げの呼び、廿二日の後説會

外四十 軍縮會後援會にて 網合

六往復に

とし四時散育した 一とし四時散育した 

ラデオ

明和四年十一月廿四日(日曜日) 日午後三時三十分 ニュース 日午後七時 コース コース

育映監禁作者として既に定所がも 国来通の同所領主庁川政一氏は教団来通の同所領主庁川政一氏は教 英副御訓職の職御職行申上げて御接師将田米彦氏は今上陸下が往往下が往往 程を終り廿四日香港丸にて開京す 廿三日の繊細撮影を以て発定の七つよるつた東京シネマの一行 月際に取って補州を総常 いがあって補州を総常 A CANAL DE LEGISTE DE CONTROL DE

期日一

一十五日より十二月十日まで十五日間

の豫約

在二四三四面 Rn 連

徳海屋の 破格大英斷

列

王东















立を関ひます。 念 大連市浪速町三丁 特價品 とみ 東京 至 屋目

三五六五番

十日以内には仕上げ御手元まで御屆げする事に致します今囘の大英斷開催十五日間中に御注文下さる品は十二月二新な地質と瀟洒なスタイルと最上の仕立とに基因して居ります徳海屋の豫約の素晴らしい人氣はその價格の低廉と高級にして淸 氣ま」が云へて急ぐに間に合ふ假終 學生服部の 既製品部の大陳列 渍 8 背廣 品大陳列會を開催する事になりました が優良品經濟化大宣傳の爲め冬服地新柄逸 明治三十八年創業以來の大催しとして弊店 見る 冬の洋服生地新柄逸品 名 大陳列 交流式=戦後のいらぬ電灯線より開ける ロング 名 産 オー

どんな服でも

多年服部は ります學生服旣製品は関すの生地の精撰と堅牢は當店の自慢をす 引 奉

(年中無休。夜間は九時迄)

は はの木 要生液 小坂 一次でドル 志賀邦雄 小坂 一次でドル 志賀邦雄

ジャズの現在と特来

使用と君似ーは罰せらるよことを用と君似ーは一般を期間を経過し從副の評価

生活改善を叫び

教化團體か動く

機能日支援(2) 事件の 一次の事質よく最に三名選問した因の事質よく最に三名選問した日本 の事質よく最に三名選問した日本 は最後の内山上等兵が膨脱した日本 に山内上等兵が膨脱した日本 に山内上等兵が膨脱した日本 に山内上等兵が膨脱した日本 に山内上等兵が膨脱した日本 に山内上等兵が膨脱した日本 である時間総削一名は逃院した日本 がでル機取りずと言はれてるたが經過風 が変が出来るや がでからいする権力を接触した日本 のである時間総削一名は逃院した日本 のである時間が関するが出来るや のである時間が関する権力を提供した日本 のである時間が関するが出来るや のである時間が関する権力を が関するが出来るや のである時間が関する権力となるや のである時間が関する権力と のである時間が関する権力と のである時間が関する権力と のである時間が関する権力と のである時間が関する。 のである時間が関する。 のである時間が関する。 のである時間が関する。 のである時間が関する。 のである時間が関する。 のである時間が関する権力と のである時間が のであるが のである時間が のである。 のである時間が のである時間が のである。 のでる。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでる。 のでな。 ので

一般に實行事に通知

来たる二十三、四扇日華スに於て 第二月漸州青年戦闘議員舎が開催。

長春調町小駅盛では二十二日同校 に於て生徒は一般父兄 贈かせた が大成功であつた

中前九時から午後三時まで四日間中前九時から午後三時まで四日間

音樂會

ある筈 長夫人その他十数氏の大輪 長夫人その他十数氏の大輪

た拠益金十六周州七銭を献金をして得時は野売費の収大販賣をなして得料は野売費の収大販賣をなして得

野菜取次販賣の

純益を献金

神通、加勝、河西の大氏だと 神通、加勝、河西の大氏だと

小學校商業部生徒が

二日安率線急行にて來率同日赴

なは自鳴車事體板査上の注意事項 

は大連総理談より小林房太郎氏とは大連総理談より小林房太郎氏と任じ後任

動儉デー決定す

大和小學校における

ンドル 逆ハンドルの目

保衛夫もグルで 石炭を盗む

、努力すること ・努力すること ・努力すること

大学のから、大学の大学のである。一日午後人時無明報に制要された。 一日午後人時無明報に対してある。一日午後人時無明報に制要された。 一日午後人時無明報に対してある所が、大学人とする。「一日午後人時無明報に制要された。 をかったとしてある。最も観響の多いで売った。 をかったとしてある所が、五十人で売び渡の主なるものは保郷夫工の保棚夫を表情がして、五十人で売び渡りまする。最も観響の多いで売びる式に削えるものは保郷夫工の保棚夫が成場を取り、五十人をする場所に各が場合。 をかったとなって認所に各がある。 をかったとなって認所に各がある。 をかったとは青地一部に対は、五十人で売づる式に削える場合に一五名により一方を力を開酵と連絡を取り、五十人を一方の一方の一方である。 をはいたとは青地一部に対は、五十人で売び渡の主なるものは保郷夫工の人としてある所が、一日午後人時無明報に制要された。 本語が大き、一方の人の一方の人としてある。 本語が大き、一方の人の一方の人としてある。 本語が大き、一方の人の一方の人としてある。 本語が大き、一方の人としてある。 本語が大き、一方の人としてなる。 本語が大き、一

酒庫の火事

宋 十二日安華線念

掲げ全被出使の領 十圓の偽造

紙幣發見

新省祭の祭典 となった

くと、小森綱山東巻所からの第二 近りたゝまれたまゝの世報だっ 医

である記まはしい秘密だわ!

にいてん

開催神心にては新紫祭に際し後任神殿を執行を上井祭典を執行を主井祭典を執行を主十三日午後三井祭典を執行 川右太衛門主演時代職「小会井小 上映の管なるが映画は桜竹崎作現 上映の管なるが映画は桜竹崎作現 上映の管なるが映画は桜竹崎作現

に腰を塞すと、舌を鳴らした。 英稿は、びくりと間を動かした。 が、どかりと間専の前の膨脹冷子

だりやからん仕事は滞山あるんだ!

すると、不意に養女の働らの福」 なく実知子は足を止めたの更へのまた。 異れったにしては少し荒べしい無限のや

開行の 川宿の 川宿の 地震の 大変変な 大変変な

出輪外海社談講京東 發製 先約各町村一ケ所限り薬店に限らず 賣藥 元岩里

部一の書文註院費及文註外部

標神の者思 快全業服共人五が人五

【特異層因惡性用(赤相) 五団 ●淋病治療の栞數十頁の 送料

別府温泉で名高い岩里の大迷せの豊磯のみ多き中に別所市中渡(岩里人迷せの豊磯のみ多き中に別所市中渡(岩里して二日内服効なき時は残嬰引替に全部呉森に大なる安心と信頼を得益を好声を悼せり急に大なる安心と信頼を得益を好声を博せり急に大なる安心と信頼を得益を受許を博せり急 明書實驗書進呈

岩里家の家傳

夜景排

威

窓 マーニー・「一個なん! 得つてるなん (167)

(四1

協議した認思左の退税を貸すに決合を開催。

海州惣祭官更後投曾設立に関

合理化をさける

8

廿五日講演會開催

文職口まで減られて出た。 大ですか?」 いるは さらいふ倭文子の言葉に、奥知 いに、静つてはるませんか 満日日

をの時、機の外には、全別の概率等に集めて、英幅が思を繋し 実知子との間に発される常版を耐したので、そつと彼女等の後をつけて来ると、機にびたりと随を着け

との説か同局内に捌がつてある 場げ閉日月を送りつゝあるが近く 実・の選従前の地位につくべし の単生綱突事件以來奪天へ引 前安東縣公安局長鮑竹蘇氏は九月 てひそんであたりであづれる。といふのが水管のやうに思はれまといふのが水管のやうに思はれま

んみたいに、

です! あの人のいふとは信用です! あの人のいふととは信用です! あの人のいふととは信用です! あの人のいふととは信用が出来ないんです。 標外 楽ししま

たと答へた。
と答へた。
な動口の天地に下つてるるペントからは、塩をたっちりと明っ、浮び上には、どつぶりと聞いるとなるペントからは、塩々たる質糊光が、そこから生態ったが、そこから生態ったの間が酸んであて、足元が色ない、そこから生態ったとのは、どつぶりと暗い外のを単常のようなであて、足元が色ない。

原

場開き 場選手決定

もはいつたやりだわ……門まで一

北二條町金光数ッ所では一地、大部よりの一部では、大部よりの一部では、大部との一部では、大部との一部では、大部とのできる道。の常語下に翻演像を現った。 二十四日緩織豬織県樂部道場開き 上り田鳴越子左の通り秩定した 人領道、遠瀬川二段、小野初段 本・遺 松田三段、木尾二段、宮 田一級、坂下三級

加娄縣されたので常任将事は八名で開原實際會鎮川島曾兵衛氏に追 青聯議會代表

州青職議論に出席の當め十三日午日奉一替の小殿校に於て開館の諸

株太氏の部養 大製音には来る中七日特盤にて夫 大製音には来る中七日特盤にて夫 大型では来る中七日特盤にて夫

兒童た

編職支那機胃年職では職て創立製 の行事完成 を進めてるたが観での行事完成 を進めてるたが観では職で創立製

岩見遞信書記榮轉

一番地(地方事等市南縣)) 7家最後 一会和、事務所移順 全和、事務所移順 全和、事務所移順 一会和、事務所移順 一会和、事務所移順 一会和、事務所移順

獎推誌雜聞新名知

ていい何とかして、本書に燃き来てしまつたか、何らか確めるんでしまったか、何らか確めるんでてあるやうだつたら、うまく数しては状させるんですわ!」

はぜて、自分の部をへ成つて返して要整的、美を美ふと、選首を起って要整的、美を美ふと、選首を起って らいくの間、何や枝女等は罪をはづませてもらっ で、 黒田さんがいつもいふとは い、 みんな影像の撥城の継楽、先

の作出のが、その小郷英太が、戦人の作出のの部屋で、自襲を選げた 利を踏み占めながら、心にさる 実用子は靴の下にきしれる場所

返金葉 二日のんで十十十 (一本クスリ系)